

環境教育「まず、今できることから」

発行所：地域環境活性化協議会
 編集者：代表幹事 高橋賢一
 連絡先：市民活動支援センター
 尾張旭市淡川町三丁目5番地7
 (淡川福祉センター内)
 TEL0561-51-2878

食生活に不安が44%
 食の安心安全。

平成三十三年
 八月十日(水)
 午後一時三十分から
 十七時迄

場所アトリスアオキ
 主催尾張果農緑水産

「いいともあいち運動」の
 会員でもあり、三河年度
 はエポックな農作物の
 栽培に力を入れていること
 になり、その一環として、
 どのような企業が参加す
 るのか、出席した。
 約四十ペースが参加しているため
 いろいろ試食も歩いた。



三軒位の企業と
 関連連携場として
 ゆくことと話合った
 この内容が、
 子供達の見学
 と菜の花アオキ
 クトのテーマで
 非常に今夜
 面白い連携場と
 思う。

我が家のテーマは
 今年と来年も併
 せて
 次世代を担う子供
 達の食文化を遊ば
 文化伝承である
 ため、研究資料に
 したい。

世界遺産登録は
 日本の食文化
 かそれとも
 モーニングが
 ご飯にお新香
 お味噌汁具
 入はやはり和食
 が一番
 その日本の食
 文化遺産に登
 録するため



登録検討会では粗いのは三つ
 一つは世界のみんなに正しい日本
 食文化を発信し、広く理解して
 もらうこと。もう一つは日本人

自給に自国の食文化の
 素晴らしさを再認識し
 てもらうこと。そして
 小学生にお袋の味を聞
 くと、
 五位三位、カレー、ハンバーグ、
 スパゲッティ、でカレーが和
 食だと思ってしまう子も

